

【展示物名】 観察ステーション（顕微鏡）

【該当する学年】 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

【学習指導要領】 エネルギー 粒 子 生 命 地 球

<小学校3年>

(1) 昆虫と植物

身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

<中学校2年>

(3) 動物の生活と生物の変遷

生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解させる。また、動物などについての観察、実験を通して、動物の体のつくりと働きを理解させ、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解させる。

ウ 動物の仲間

(イ) 無脊椎動物の仲間

無脊椎動物の観察などを行い、その観察記録に基づいて、それらの動物の特徴を見いだすこと。

【写真】



【双眼実態顕微鏡(手前)とマイクロスコープ(奥)】

【県内初導入のステレオダイナスコープ】

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 県内初導入の「ステレオダイナスコープ（接眼レンズのない実体顕微鏡）」や、双眼実体顕微鏡、ボタンを押してカメラを操縦し、生きている水生生物などを追跡して観察することのできる「マイクロスコープ」など3種類計5台を設置しており、見て、触れて、楽しく学ぶことができる。

☆ **小学校3年「チョウをそだてよう」**では、当館で飼育しているモンシロチョウの卵や幼虫、蛹や成虫などを**生きたまま拡大して観察**することができる。特にステレオスコープでの観察は、**接眼レンズをのぞき込まなくてもよい**ため、児童が観察しやすい利点がある。

☆ **中学校2年「動物のくらしやなかまと生物の変遷」**では、当館で飼育しているカブトムシやクワガタムシ、ミズスマシやタガメなどの昆虫類の体のつくりを、**生きたまま拡大して観察**することができる。特にマイクロスコープでは、水生昆虫が水中で動くようすを追跡して観察できるため、**体のつくりと運動のようすが理解しやすい**利点がある。